

# かっぱの センタ



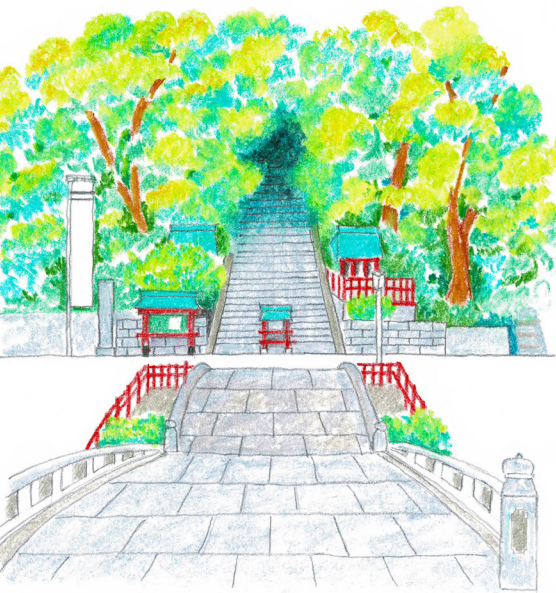
かしわぎ      こ      さく  
柏木とも子   作  
すたじおれおん   絵

# かっぱの センタ



かしわぎ      こ      さく  
柏木とも子   作  
すたじおれおん      え      絵

いちょうのきかわ  
かっぱのセンタは 銀杏木川にかかる  
しんこうらいばし した す  
新降来橋の下に 住んでいます。



しんこうらいばし につたじんじゃ どう  
新降来橋は 新田神社の さん道です。



「おはようございます!」

「おはようございます!」

センタは <sup>あさ</sup>朝が <sup>だい</sup>大すきです。



<sup>あさ</sup>朝になると <sup>ちか</sup>近くの <sup>えん</sup>ようち園に  
<sup>こ</sup>子どもたちが やってくるからです。

<sup>せんせい</sup>先生と <sup>こ</sup>子どもたちの <sup>げんき</sup>元気なあいさつが  
きこえてきます。



センタは お母<sup>かあ</sup>さんに 言<sup>い</sup>いました。

「ぼくもようち<sup>えん</sup>園<sup>い</sup>に行きたい!」

「センタ、ようち<sup>えん</sup>園<sup>い</sup>は 人<sup>にんげん</sup>間<sup>い</sup>が行くところなのよ。」

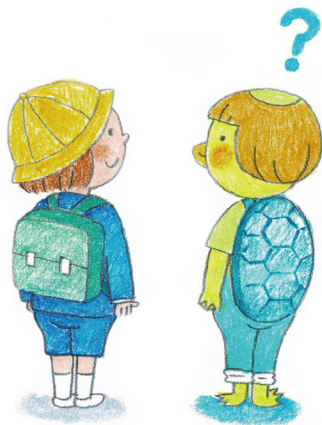
「人<sup>にんげん</sup>間<sup>い</sup>?」

センタは ふしぎに おも<sup>おも</sup>いました。

よーく、よーく<sup>み</sup>見<sup>み</sup>てみると

センタと子<sup>こ</sup>どもたちは どこか 少<sup>すこ</sup>しち<sup>ち</sup>がいます。

でも どこがちがうのかは 分<sup>わ</sup>かりません。



ためしよみ

は

ここまでです